記者発表資料

平成２８年　５月３１日
東北地方整備局
北上川ダム統合管理事務所

［田瀬ダム］水質保全設備（曝気装置）を６月１日より稼働開始
～アオコ発生の抑制のため設備を早期稼働～

田瀬ダムでは、平成１１年頃よりダム湖に植物プランクトンによる「アオコ」が発生しておりますが、**平成26年度は初めてカビ臭原因となるアオコ（ｱﾅﾍﾞﾅ属）が発生**し、それらが生成する**ジオスミンによるカビ臭が発生**しました。
「アオコ」は、ダム湖の表面水温が高くなる夏季に発生するため、表面水温を下げアオコの発生を抑制する事を目的に「散気式曝気装置（水中に空気を送り湖の水を循環する装置）」を設置し、平成１９年から稼働しております。
近年は、夏季前から早期に稼働させることで、アオコの発生抑制が図られることから、本年も、**６月１日より曝気装置の早期稼動を開始します。**

■平成28年度　水質保全設備（曝気装置）の運用計画

１．運転期間：　平成28年6月1日（水）～10月31日（月）【予定】

２．運転時間：　3台／24時間連続運転

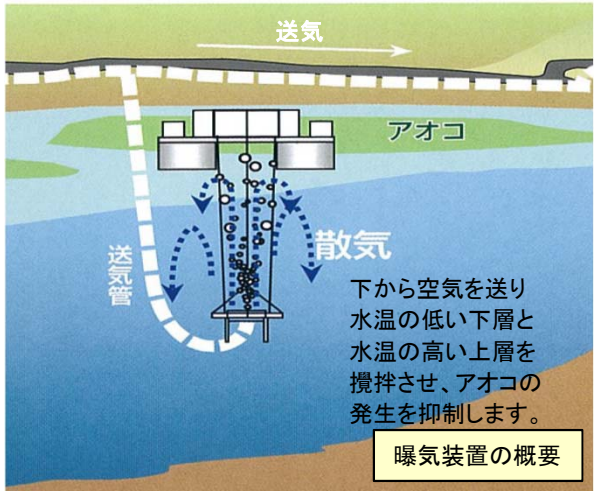
３．監視体制他　：　田瀬ダムではダムサイトの水質自動監視装置での監視に加え定期水質調査（1回/月）及びダム湖の巡視（2回/月）を実施し、アオコ発生等の状況を把握し、関係機関への情報提供を行います。
また平成25年度から継続している学識者を加えた「田瀬ダム水質検討会」にてアオコ発生の要因や水質保全・改善に関する検討を行います。



曝気装置位置図



～「アオコ」とは～
植物プランクトン（藍藻類）が異常増殖して水の表面が緑色の粉を吹いたようになる現象で富栄養化の進んだ全国の湖沼で見られます。



曝気装置の概要

≪発表記者会：岩手県政記者クラブ≫

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　北上川ダム統合管理事務所
〒020-0123　盛岡市下厨川字四十四田１番地
副所長　　大入（オオイリ）　敏夫（トシオ）　（内線 205）
（代表TEL：019-643-7831）

北上川ダム統合管理事務所　田瀬ダム管理支所
〒028-0123　岩手県花巻市東和町田瀬39-1-3
支所長　　横野（ヨコノ）　明彦（アキヒコ）　（内線 6221）
（代表TEL：0198-44-5211）